



2025年3月期  
第3四半期決算説明資料  
2025年2月12日

社会を変革する **I T イ ノ ベ ー タ**

**業績概要**

**S I Gグループ成長戦略と長期ビジョン**

**会社概要 事業内容**

# 業績概要

## 既存事業の成長とM&Aの進捗により業績は好調に推移し、対前年を大きく上回る

- 前期末に子会社化したU I Sの売上高974百万円、営業利益66百万円を当連結会計年度より連結対象に取り込みました。
- 既存事業の売上高は対前年で356百万円増加し、営業利益は対前年で149百万円増加しました。
- 計画外の受注の増加や、子会社の保険解約返戻金の営業外収益の計上等により売上、利益が伸長し通期業績予想の修正をいたしました。

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期 (連結)				
	第3四半期実績	第3四半期実績	前年同期比	修正通期業績予想	修正業績予想進捗率	当初通期業績予想
売上高	5,111	6,442	26.0%	8,600	74.9%	8,000
営業利益	235	450	91.6%	520	86.5%	420
営業利益率	4.6%	7.0%	-	6.0%	-	5.3%
経常利益	234	515	119.7%	590	87.2%	440
当期純利益	117	286	144.0%	380	75.2%	280

## 子会社の業績は期初予想を上回って推移 営業外収益の計上等により通期業績予想を修正

	当初計画		通期業績予想の修正	
売上高	80億円 (前期 69億円)	➔	86億円	<ul style="list-style-type: none"><li>・主力案件の受注は堅調に推移し、計画外の案件も増加</li><li>・拠点連携による体制強化で機会損失が減少</li><li>・今期より連結へ取り込んだ子会社（UIS）の業績も計画を上回って推移</li></ul>
営業利益	4.2億円 (前期 3.55億円)	➔	5.2億円	<ul style="list-style-type: none"><li>・高利益率案件の増加</li><li>・グループシナジーによる生産性向上</li><li>・M&amp;Aに伴うのれん償却、管理コストの増加が継続</li><li>・子会社YCOの不採算案件の影響を加味</li></ul>
経常利益	4.4億円 (前期 3.57億円)	➔	5.9億円	<ul style="list-style-type: none"><li>・上半期に発生した子会社の保険解約返戻金の影響</li><li>・上記段階利益増加に連動</li></ul>
当期純利益	2.8億円 (前期 2.39億円)	➔	3.8億円	<ul style="list-style-type: none"><li>・上記段階利益増加に連動</li></ul>

## システム開発

(単位：百万円)

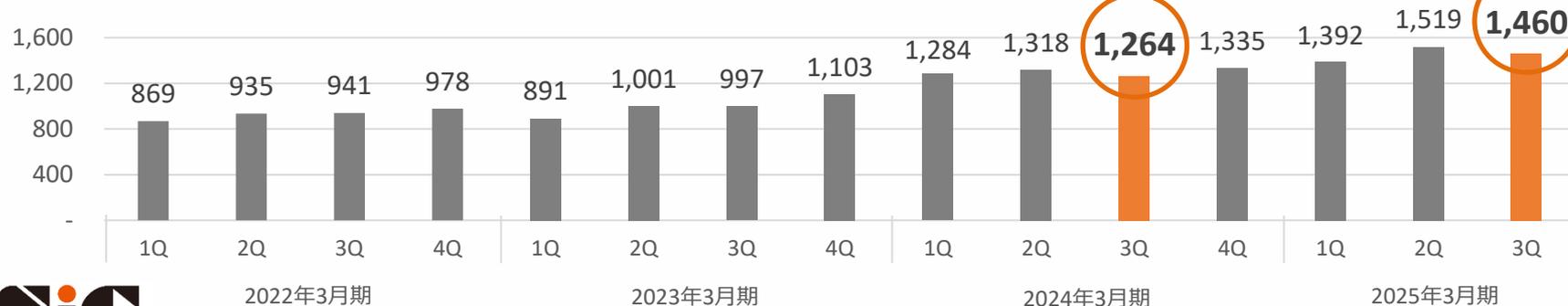
	2024年3月期3Q	2025年3月期3Q	前年同期比
累計売上高	3,867	4,371	+13.0%

主要分野への体制拡充の継続と、サービス系分野のシステム、アプリ開発の受注等により売上高は好調に推移  
U I Sの売上高（245百万円）を当連結会計年度より当事業に取り込み売上高は上昇

- **公共系** .....
  - ・第2, 第3四半期において新規国保標準システム導入案件は稼働ピーク
  - ・今期Fit & Gap工程（※）からスタートした新規の政令都市向け標準化案件は基本設計へ移行し体制拡充
  - ・既存の政令都市向け人事給与システムの保守・改修と税金・年金・共済系案件や品質保証業務案件等の安定需要等により、分野別では第1～第3四半期累計期間の対前年で約150%の成長
- **エネルギー系** .....
  - ・第1四半期にスタートした次期電力販売管理システム開発、送配電・発電事業者向け保守、共通基盤系開発の上流工程案件等の主要取引の体制拡充が第2四半期から継続し、分野別では第1～第3四半期累計期間は対前年で約140%の成長
- **サービス系** .....
  - ・今期、主軸の仮想移動体通信事業者向けシステム開発の取引が拡大、通期での安定需要見込みのほか、物流ユーザ向け基幹システムの安定需要、新規の建設業向けアプリ開発が貢献し、売上高は好調に推移し、対前年で114%の成長

(単位：百万円)

### 売上四半期推移



## インフラ・セキュリティサービス

(単位：百万円)

	2024年3月期3Q	2025年3月期3Q	前年同期比
累計売上高	1,244	2,070	+66.4%

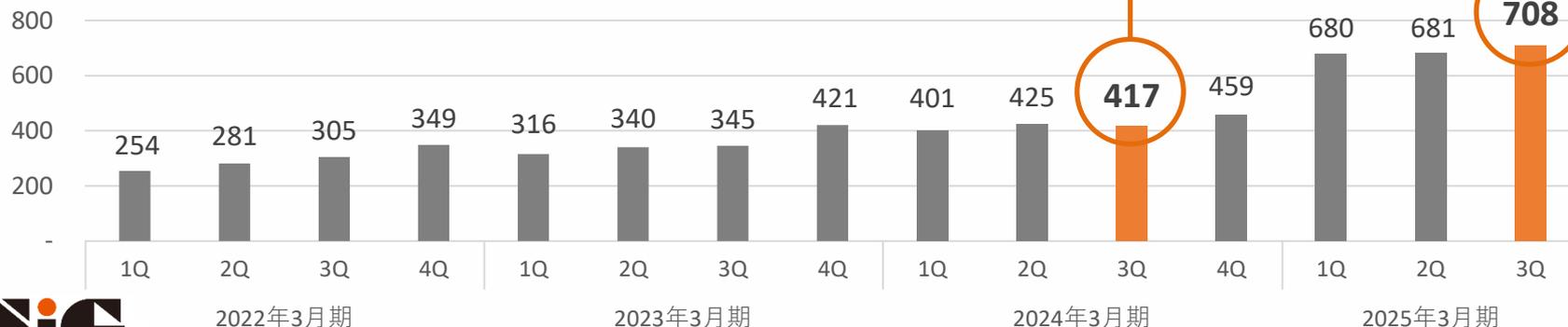
既存事業では、全国事業所拠点連携推進と継続的な需要により高成長を維持

U I Sの売上高（728百万円）を当連結会計年度より当事業に取り込み事業全体では売上高は大幅に上昇

- **公共系** ..... 受託領域や開発体制が安定し、単価アップも順調で堅調に推移
- **エネルギー系** ..... 2024年4月から既存システムの保守一括請負プロジェクトがスタートし、順調に推移
- **金融系** ..... 受託領域や開発体制が安定し、地方拠点との連携も拡大して、堅調に推移
- **セキュリティ系** ..... セキュリティ脆弱性診断の新たな顧客開拓に成功し3Qより着手したほか、体制強化したC-SIRT業務<sup>(※)</sup>も順調に推移
- **サービス系** ..... AWSクラウド案件やシステム構築案件などの受託（請負）を対象に、全国拠点連携案件が増加  
・AI関連の引き合いも増加し、売上、利益共に堅調に推移
- **UIS** ..... 既存大手取引先との協業強化による売上拡大や、新規案件の獲得により計画を上回る

(単位：百万円)

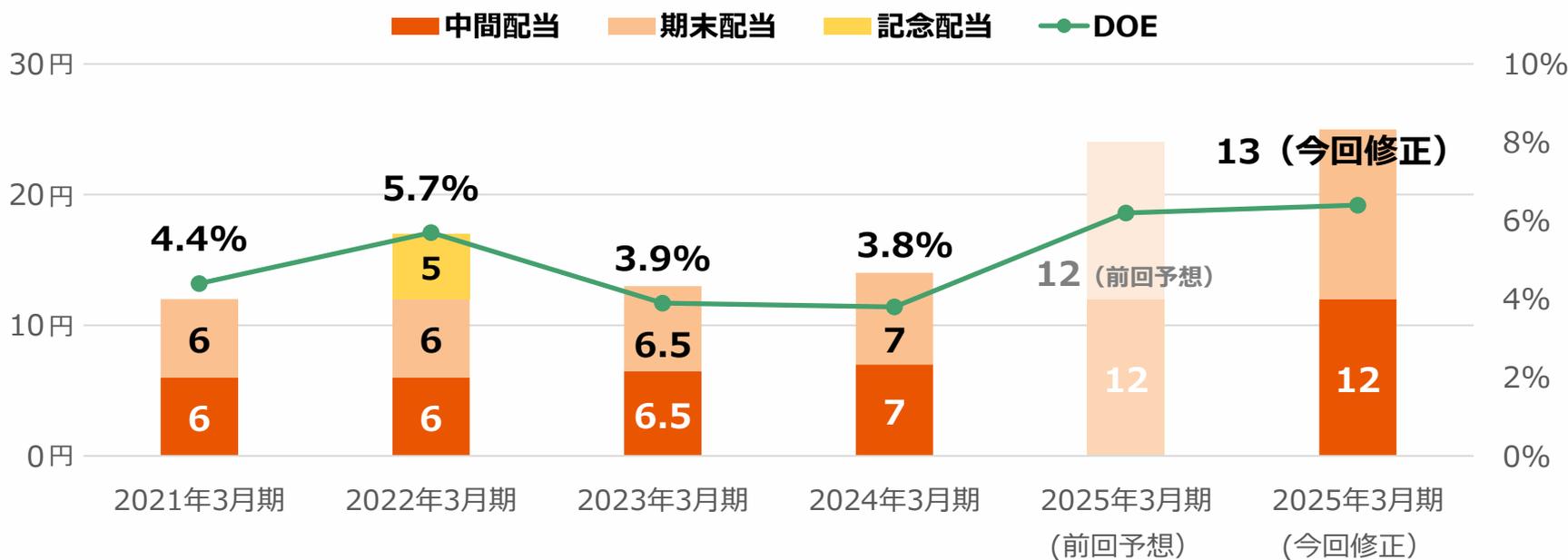
### 売上四半期推移



# 期末配当予想の修正について

当社では、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保資金を確保した上で、株主資本配当率（DOE）6%を目安として、安定した配当を実施することで継続的な株主還元を行うことを基本方針としております。

業績は好調に推移しており、当期純利益について当初計画を上回ることが予想されることから、1株あたり配当金額を前回予想から1円増配し、13円に修正いたします。これにより、年間配当金は1株につき25円となります。



# S I Gグループ成長戦略と長期ビジョン

- ITイノベーションにより社会の高度化に貢献する
- 自己革新と研鑽により社会のニーズにこたえる
- 幅広く人材を受け入れプロフェッショナルとして育成する
- 会社の発展と業績の拡大によって社員の幸福を目指す

## ITトータルソリューションカンパニー 「企業の外部CIO\*として成長に貢献」

### グループ内シナジーを活かし収益力向上

得意分野の事業体制と業務フロー見直し、  
サービス内容と効率性を向上

### 新しい事業領域や技術への取り組み

業容の拡大には引き続きM&A等を有効に用い、  
グループ価値向上に必要な機能・スキルを充実

経営理念

長期ビジョン  
ありたい姿

中期計画  
課題と施策

## 規模から質のグループ企業体制の構築を目指して

### 第1フェーズ ~2024

「崖越え\*はSIGグループ」  
独自のグループ体制を構築

#### 第1フェーズの評価

M&Aの推進によりグループ企業体制を構築  
企業のDXへの取り組みが加速し、計画を前倒し

- DX化依頼プロジェクト増
- 作業環境のクラウド化

➔上記2点はいずれも第2フェーズ以降の対策であった

\*崖越えとは、「2025年の崖」に由来し、IT環境のシステム変換ニーズの高需要と、その需要に対応する人材の不足を当社で多くを対応しようという試み

### 第2フェーズ ~2027

グループのシナジーを強化し  
企業価値を最大化

- 売上目標170億円(当初計画)⇒120億円
- 売上規模拡大はペースを落とし利益重視の目標へ変更

#### 企業の外部CIOとして成長に貢献

- 企業のDX課題を多角的に支援
- グループ企業価値を再定義し、収益性確保
- 売上：120億円 営業利益：7.2億円  
(既存子会社 90億、新規M&A 30億)

#### グループ各社の最適化

- 改めて各社の強みと課題を分析し、グループで活動することを前提に各社へ求める機能とスキルを特定



#### 組織の課題を成長軸へ

- グループでしか提供できないソリューションに取り組み・提供することで企業価値向上を目指す

### 第3フェーズ ~2030

企業の外部CIOとしての  
機能を進化

- 売上目標300億円(当初計画)⇒200億円
- 外部CIOとして多様な業態の対応が可能に
- 拠点：実績を活かし拠点展開を推進
- 売上：200億円 営業利益：14億円  
(既存子会社 120億、新規M&A 80億)

#### ▶当社の事業モデル



(株)SIG

(株)Y.C.O.

(株)アクト・インフォメーション・サービス

ユー・アイ・ソリューションズ(株)

## グループ企業価値向上のKPIを営業利益とし、体制を再構築

### 方針

- グループのシナジーを強化し企業価値を最大化
- サステナビリティ経営の実践でグループ企業価値の向上
- 新しい事業領域や技術への取り組みを可能とするM&Aの推進
- DOE（株主資本配当率）6%を目安とした配当方針

(単位：百万円)	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 当初 (計画)	2025年3月期 修正 (計画)	2027年3月期 (目標)
売上高	6,900	8,000	<b>8,600</b>	12,000
営業利益（営業利益率）	355 (5.1%)	420 (5.3%)	<b>520 (6.0%)</b>	720 (6.0%)
配当金（DOE：株主資本配当率）	14円/株 (3.8%)	24円/株 (6.0%)	<b>25円/株</b>	(6.0%)

### グループ体制 2024年12月31日現在

持株会社

**(株) SIGグループ**

企業文化の形成

事業会社

**(株) SIG**

**(株) Y. C. O.**

**(株) アクト・インフォメーション・サービス**

**ユー・アイ・ソリューションズ (株)**

スマートデバイス開発やクラウド、セキュリティ事業を強みに産学官のDX推進を支える

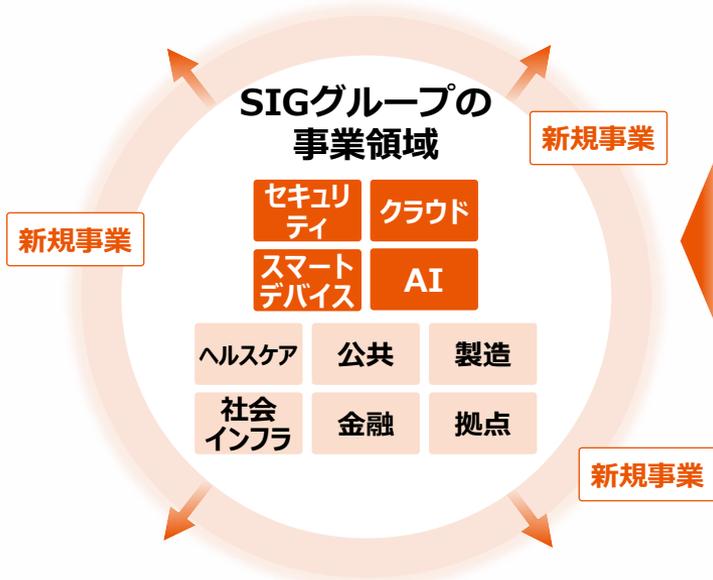
独立行政法人の管理業務等に特化した専門的な深い知識とノウハウを所有

大手企業案件で培った、多岐にわたるシステム開発・保守の高い技術を所有

顧客のITライフサイクルでの各工程にワンストップで対応

## M&Aの推進

- 事業領域の拡大
- 急増するニーズへの対応
- 地域展開による作業効率の改善



### 業務提携・協業

- バリューHR (ヘルスケア)
- コーピー (AI)
- GMOグローバルサイン (電子認証サービス)
- 酒田エス・イー・エス (地方拠点)



## AI事業

AI技術を活用したご提案を通じ、お客様のビジネス拡大に貢献

- AI需要に対し、多様化・複雑化するニーズに柔軟に対応
- データサイエンスに関連する分析・可視化からAIを活用したコピー社の業務ソリューションの提供

### 新規事業推進部

#### AI戦略グループ

技術



AI戦略



AI活用

エンドユーザー

### SIGグループ

S I G

Y.C.O.

アクト・インフォメーション・サービス

ユー・アイ・ソリューションズ

+

子会社

子会社 ...



## クラウド・セキュリティ事業

旧サーバーからのデータ移管に留まらず、クラウド上のデータ利活用・セキュリティに配慮した提案を実施

### クラウド化支援

- クラウドへのデータ移管業務
- データ分析・解析用の基盤構築支援

### セキュリティサービス

- 脆弱性診断
- アプリケーション設定確認

### 保守サービス

- 運用状況確認サービス
- ミドルウェアのバージョンアップ

## ワークライフバランスのとれた働き方ができる職場環境整備

### 目的

- ワークライフバランスの実現と、企業の持続的成長が可能な組織の構築
- 持続的な成長を図るための労働力確保に向けた人材の強化
- 従業員一人ひとりが働きがいを持ち、心身ともに健康で安心して働ける環境の整備

### ワークライフバランスの実現

- 残業時間の管理を徹底
- 有休取得を促す

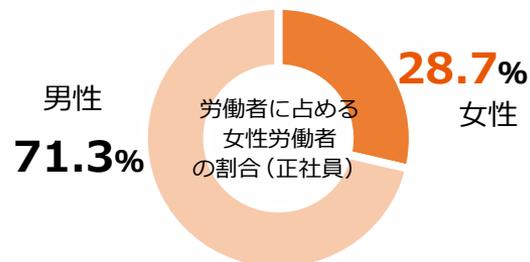


### 採用の強化

- DX推進に向けた優れたIT人材の確保
- 採用者に占める女性比率を増やす



■ 女性従業員数の割合 (2024年12月時点)

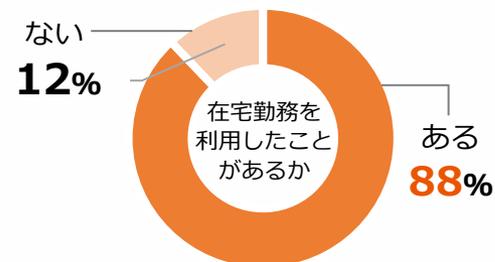


### 働きやすい職場環境の整備

- 育休取得率の向上
- 在宅勤務・テレワーク制度の継続



■ 在宅勤務・テレワーク制度の運用実績 (2024年12月時点)



# 会社概要 事業内容



## 経営理念

- 1 ITイノベーションにより社会の高度化に貢献する**

ITは社会をより便利な方向へ、より安全な方向へと変えながら皆さんを幸せにしていきます。SIGグループはそんなITイノベーションの先頭に立ちます。
- 2 自己革新と研鑽により社会のニーズにこたえる**

ITの技術を真に社会に役立つものにするには安全で迅速で確実なシステムを構築する必要がありますし、これら高いレベルの要求を実現するために自己変革と先端技術の研鑽を実施しています。
- 3 幅広く人材を受け入れプロフェッショナルとして育成する**

幅広い人材の育成は企業の使命であり、特に大切とするテーマです。私たちは育成・指導・話し合いを行うことでビジネスを常に前進させています。
- 4 会社の発展と業績の拡大によって社員の幸福を目指す**

会社は社員みんなの夢を実現しつつ、事業を通して社会に貢献することが目標であり、その実現に向けて社員一人一人の力を集結させることが大切です。「Going All Together to SUCCESS」を合言葉に、挑戦していきます。

## 会社名

株式会社SIGグループ

## 代表取締役社長

石川 純生

## 連結従業員数

692名（2024年12月末日時点）

## 設立

1991年12月16日

## グループ会社（100%子会社）

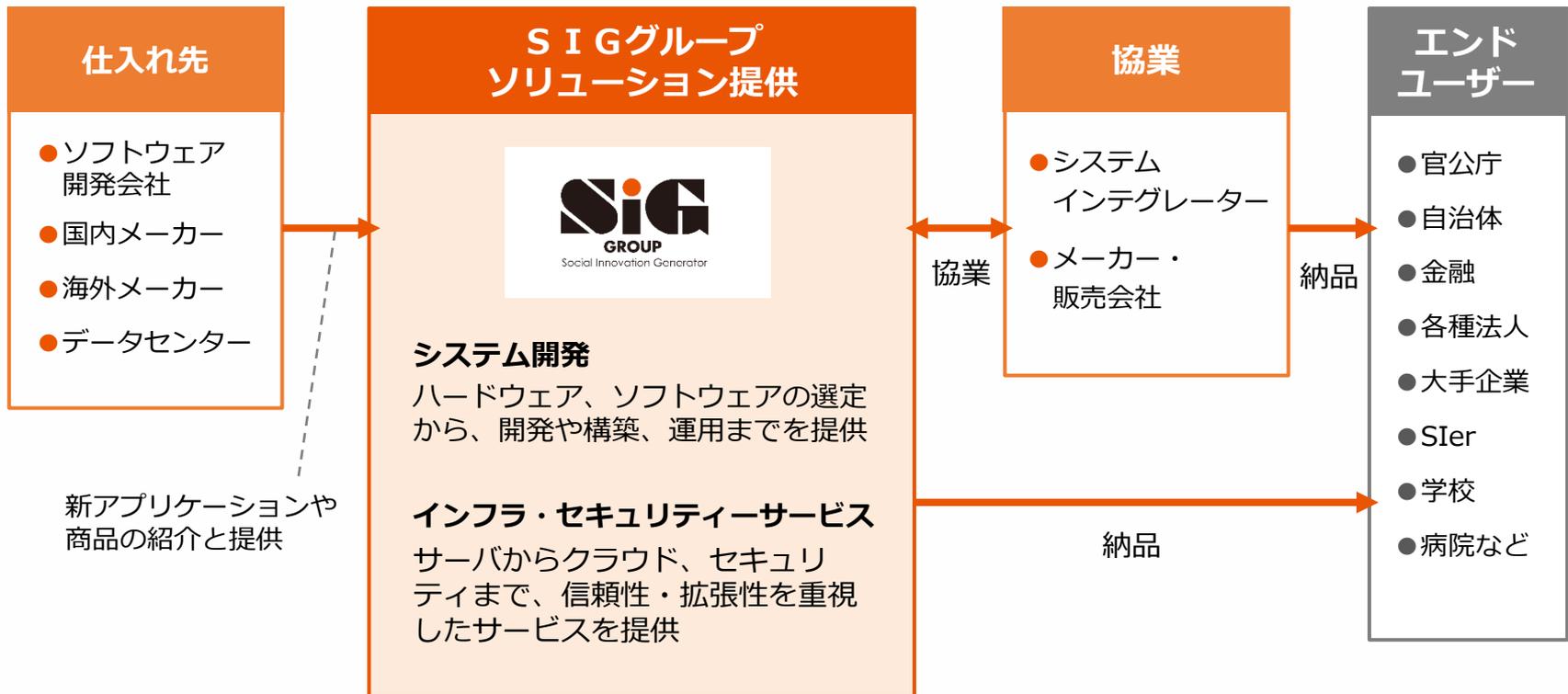
株式会社SIG（SIG）

株式会社Y. C. O.（YCO）

株式会社アクト・インフォメーション・サービス（ACT）

ユー・アイ・ソリューションズ株式会社（UIS）

- 官公庁・上場企業のシステム開発から事業拡大し多数の実績とノウハウを獲得
- ソリューション提供を通して、多種・多様なシステムニーズに対応
- ユニークなシステム開発とクラウド化ソリューション提供のポジションを構築



## システム開発

最適なシステムとなるよう、業務内容や目的に応じた企画の提案、ハードウェア、ソフトウェアの選定、システムの開発や構築、運用までを提供

官公庁



エネルギー



通信



自動車



FA



## インフラ・セキュリティサービス

サーバからクラウド、セキュリティの設計から構築導入支援、運用管理まで信頼性・拡張性を重視したサービスを提供

証券オンライン  
システム構築



防災システム  
構築



クラウド/  
ビッグデータ



クラウド環境  
セキュリティ診断



指紋認証



本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。さまざまな要因により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

●当資料に関するお問い合わせ

株式会社SIGグループ

経営企画室 TEL 03-5213-4580 (代表)